

復元された大番所・上番休息所(おおばんしょ・かみばんきゅうそくしょ)は箱根関所の一番中心となる建物です。平成13年度から復元工事に着手し、16年4月1日から公開を始めました。



この大番所・上番休息所には関所役人が詰めており、関所改めの執務や日常の生活をしていました。2棟の建物をつないだような平屋建の建物で、旧東海道に面した表側には「面番所」や「上の間」といった執務を行う部屋があり、芦ノ湖に面した裏側には「上番休息所」や「勝手板の間」、「台所土間」、「湯殿」といった日常生活を送る部屋がありました。

屋根は杉板を割って1枚1枚重ねたトチ葺となっており、また、建物の外観は「渋墨塗り」で黒く塗られています。

各部屋に復元された執務机などさまざまな調度品と一緒に、江戸時代の箱根関所の建物を現地でぜひご覧ください。



復元された大番所・上番休息所 16年から公開中!!



ホームページリニューアル

箱根関所の復元整備事業に関わる情報をホームページで公開しています。復元工事が完成し公開している大番所・上番休息所などの建物の見所案内や、復元整備工事に関わる技術、箱根関所のエピソードなど、箱根

関所についての情報が満載です。リニューアルされたホームページをぜひご覧ください。また、投稿コーナーを新たに開設しましたので、箱根関所復元整備についてのご質問やご意見をどしどしお寄せください。お待ちしております。

<http://www.hakonesekisho.jp>

京口御門、厩、雪隠も復元公開中!

大番所・上番休息所とともに、16年4月1日から箱根関所の京都側の入口にあたる京口御門(きょうぐちごもん)や、芦ノ湖側に面して、大番所・上番休息所と並んで建つ厩(うまや)、雪隠(せっちん)も合わせて公開しています。

京口御門

商店街側、道をまたいで建っているのが京口御門です。高麗門(こうらいもん)という形式の門で、その高さは大番所・上番休息所をしのいでいます。京都方面から来た場合には、この門から中が箱根関所の構内で、この門の前で身支度を整え、関所の中へと入りました。



雪隠

厩の裏、芦ノ湖側にあり、正式には「上番下雪隠」と呼ばれていました。内部には、便壺が2つ埋め込まれており、汲み取り式のトイレです。



厩

大番所・上番休息所と京口御門との間にある平屋建の建物で、5頭の馬がつけられる大きさです。建物内部には、馬をつなぐための仕掛けが施されています。



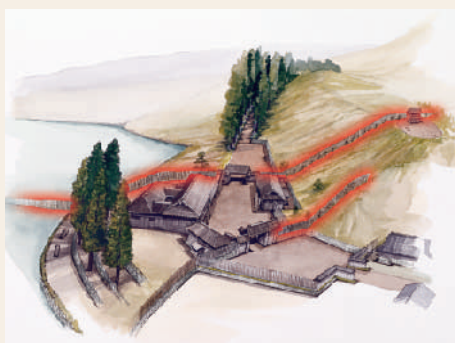
16年度も復元整備工事に着手!

平成16年度は、17年3月までに、遠見番所の復元整備を始めとして、屏風山側の柵列の復元整備や京口千人溜り芦ノ湖側斜面の復元整備のための発掘調査を行います。さらに、「まちなみ景観整備」の一つとして、電線類地中化のための準備工事を行います。



箱根関所の大番所・上番休息所の反対、屏風山側の斜面に柵列の一部が復元されています。この柵列は関所破りをされないようにと、江戸時代、京口御門や江戸口御門から屏風山や芦ノ湖へと巡らされていました。柵列の高さは約2.1mあり、先端は尖っていました。また、柵列の延長は、屏風山側は約400m、芦ノ湖側は約61mもあり、それぞれ山の中や湖の中までも延びていました。

箱根関所の柵列



関所小咄

箱根町教育委員会生涯学習課
箱根関所整備事業推進室
TEL 0460-5-7601
<http://www.hakonesekisho.jp>